



10 月光の子園だより

マナ分園
リジョイス分園

保育理念 光の中で愛をもち 支え合い育ち合う

2017年度 年主題 愛されて育つ <http://hikarinoko-nursery.jp/>

聖書のみことば

柔和な人たちは、さいわいである。
彼らは地を受けつぐであろう。

(マタイ 4 : 5)

10月の主題 乳児 0・1・2歳児 『うごく』

今月の願い

【0歳児】

☆保育者と一緒にさんびかを歌う。

・戸外で気持ちよく遊ぶ。

・身近にいる保育者や子どもの真似をしたり、

試してみたりする。

【1・2歳児】

☆見えない神さまの存在を感じ、共に礼拝する。

☆リズムに合わせて体を動かすことを喜ぶ。

☆秋の自然の中でのびのびと外遊びを楽しむ。



春・夏を過ごし季節は秋。一雨ごとに涼しくなり、色づき始める葉、木の実...季節が秋らしく深まってきています。

雨が降った翌日、やまぶき色の木の実が園庭にたくさん落ちていました。フェニックスの木の実です。それを見つけた1歳児の子ども達。その中の一人が水たまりに木の実をポチャン!と落としました。水しぶきがピシャン!!と跳ねます。それを見ていた周りの子どもたちの目が輝き、次々に水たまりへ木の実を落とします。水しぶきが高く跳ねると、顔を見合わせて笑います。次は自分も水たまりへ入ってみよう…。ジャンプして入ります。水しぶきはパシャン!!先ほどより大きくなります。その様子を見守っていた私にも“入って”と手を引っ張り勧めてくれます。私自身も慌てて靴を脱ぎ、水たまりへジャンプします。バッシューン!!加減したつもりですが、その水しぶきが大きく、背の低い子どもたちの顔へ掛かってしまいます。「ごめんね。びっくりしたよね。大きかったね。」と駆け寄ると、子どもたちは驚きの後に、面白いという気持ちから「おおきいね!」と大笑い。その後も大きな水しぶきを上げようとジャンプ!ジャンプ!水たまりでの遊びが続きます。

水しぶきがピシャン!!からパシャン!!そしてバッシューン!!と変化したその驚き、その面白さ。自分の手で落とした木の実、ジャンプした自分の足、そして大人の大きな体...その大きさの違いに気づいたかどうかは分かりません。しかし、大きな水しぶきって楽しい!面白い!と変化を五感で感じた子どもたち。何とか大きな水しぶきをあげようとしている子どもたちは、自ら環境を探求し、小さな体を駆使し、何回も何回もくり返し試します。そこに体験を通した学びがあります。一人の子の楽しいが広がり、私もぼくも...とやってみよう!が広がっていく姿。それは学び合う姿のはじまりです。ルソーは「人間の最初の理性は感覚的理性である。その感覚的理性こそが、知的な理性の基礎をなしているのだ。われわれの最初の哲学の先生は、われわれの足であり、手であり、目である」と語っています。

これから子どもたちは、たくさんの事に出会い、その中で心も体も動きだしたくなることあるでしょう。そんな時に大人ができることは何なのだろう、といつも考えます。(時には大人がしてほしくないことに興味を持つこともあるので、そんな時にはやりたい思いに共感しつつ他の方法をそっと提示します) やはり温かいまなざしでの見守りと、気づきへの共感ではないでしょうか。日常生活の中で誰かの顔色をうかがうこともなく、自分が感じたままに自己表現できるという実感を持っていることは、自我が芽生える時期である乳幼児期には特に重要です。子ども自身がそのことを保障されていると感じた時にはじめて、感性を自由に発揮して、自己肯定感を持ち、自分らしく成長することができます。子ども達の心も体も動く10月。子どものまなざしに目を向け、共に喜びの時を過ごしていけたらと思います。

主幹保育教諭 上野陽子

10月の予定



神戸市東灘区向洋町中2-3
光の子認定こども園
078-857-1577

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 ファミリー運動会
8	⑨ 体育の日	10	11	12	13	14
15	16 発育測定 ふたば組	17	18	19	20	21
22	23 発育測定 めばえ組	24	25 避難訓練	26 お誕生会	27	28
29	30	31				

地域・子育て支援...園庭開放 毎週金曜日午前

17日(火)フラワーアレンジメント 13:30~15:00

お願い

送迎時、インターフォンを押していただく際には、クラスと園児名をお伝えいただきますようお願い致します。また、テラス扉のカギをを出入りの際には必ず閉めていただきますようお願い致します。お子様の安全上ご協力お願い致します。